

## 乳糖不耐症患者はがんのリスクが低い

乳糖不耐症患者は、乳糖の消化に必要な酵素・ラクターゼが少ないか全くないために、乳製品に含まれる乳糖の消化が難しく、牛乳や乳製品の摂取を避けるように勧められている。このことが、がんの発症や進展に影響している可能性があるといわれている。そこで本研究では、乳糖不耐症患者の肺がん、乳がん、卵巣がんの発症率について調査した。

スウェーデンの乳糖不耐症患者 22,788 人とその家族を対象とした。調査の結果、乳糖不耐症患者では、乳糖不耐症でない人よりも肺がん、乳がん、卵巣がんの発生率が低かった（発症率はそれぞれ、0.55、0.79、0.61）。乳糖不耐症患者の兄弟姉妹および両親では、これらのがんを発症するリスクは一般集団と同じであった。

したがって、乳糖不耐症患者のがんのリスクが低いことは、牛乳や乳製品の摂取が制限されることによる特異的な食習慣と関係があることが示唆された。

出典：British Journal of Cancer. Published online first. Oct 14, 2014;

doi: 10.1038/bjc.2014.544